

## 雲仙岳の火山活動解説資料（平成 20 年 10 月）

福岡管区气象台  
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は見られません。  
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

### ○ 10 月の活動概況

#### ・噴煙など表面現象の状況（図 2）

噴煙は白色、ごく少量で高さの最高は 100m でした。

#### ・地震や微動の発生状況（図 2、図 3）

火山性地震の発生は 1 回（9 月：3 回）と少ない状態で経過し、火山性微動は観測されませんでした。

#### ・地殻変動の状況（図 1、図 4）

GPS 連続観測では、火山活動に起因するとみられる変化は認められませんでした。

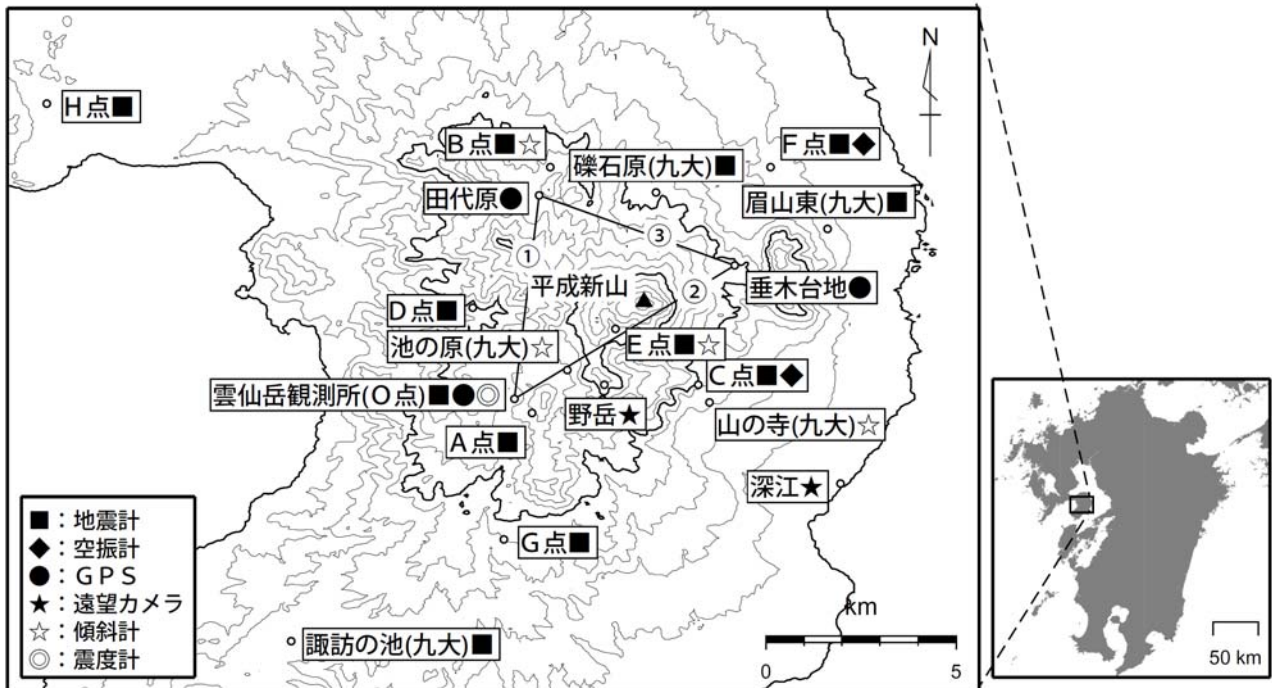


図 1 雲仙岳 観測点配置図

※この資料の作成に当たっては、気象庁のデータその他、九州大学のデータを使用して作成しています。

地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 17 総使、第 503 号）。

この火山活動解説資料は、気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）、福岡管区气象台ホームページ（<http://www.fukuoka-jma.go.jp/>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 20 年 11 月分）は平成 20 年 12 月 5 日に発表予定です。

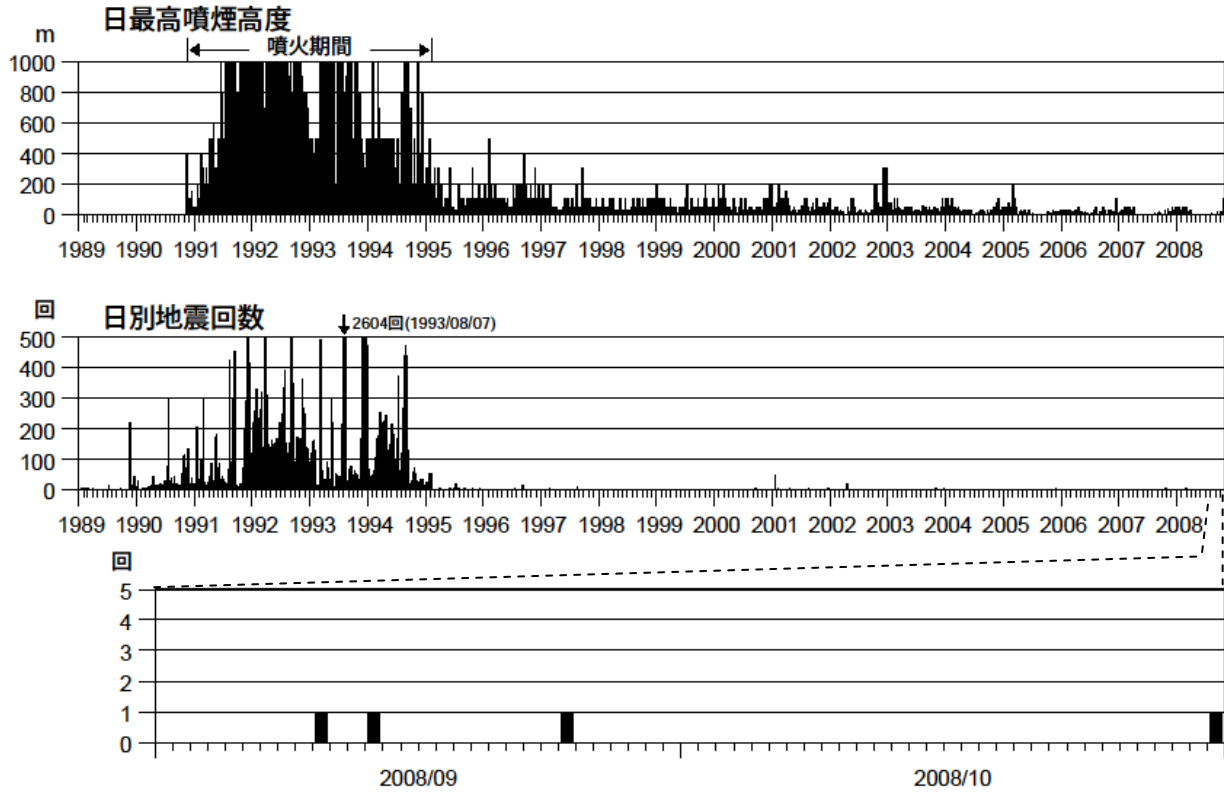
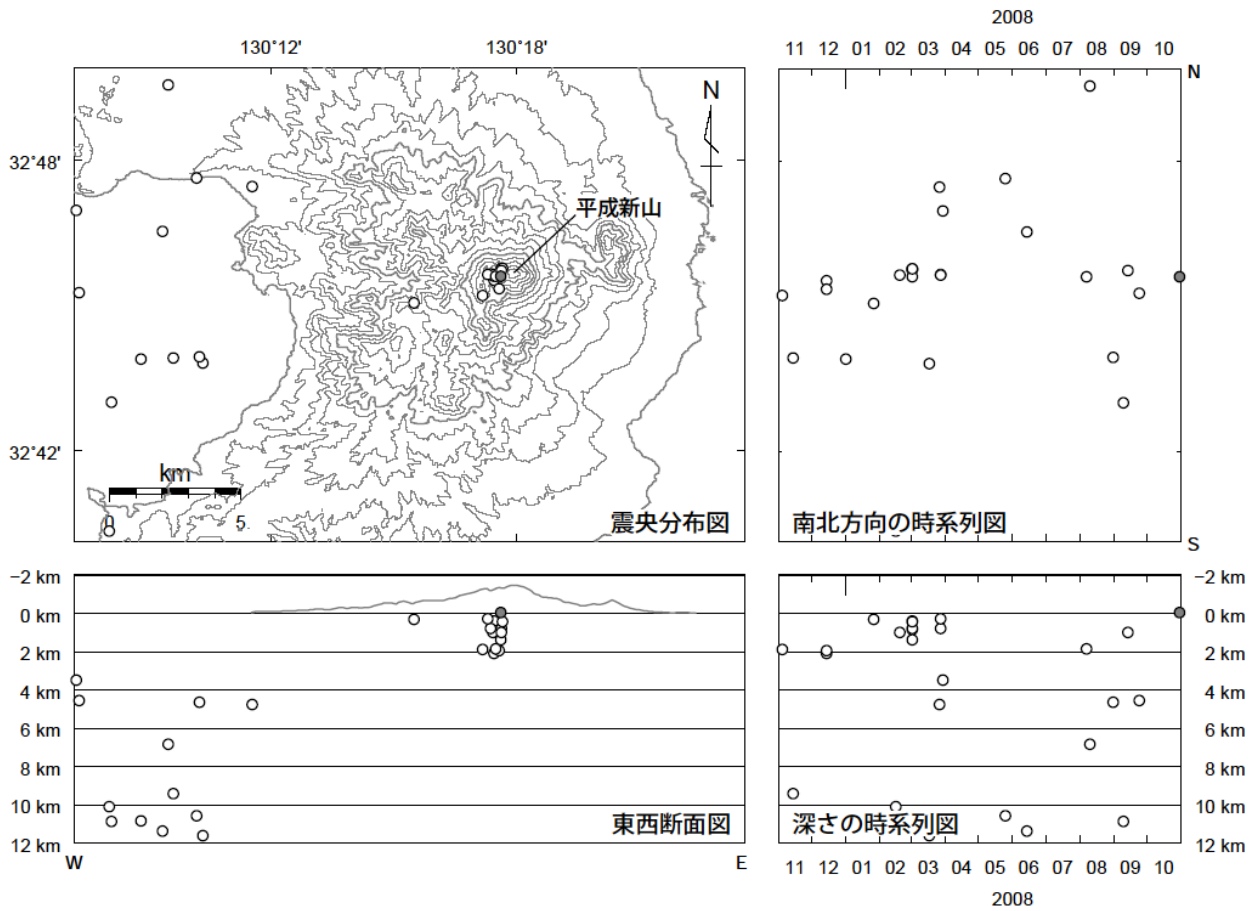


図2 雲仙岳 火山活動経過図（1989年1月～2008年10月）



○ 2007/11/01～2008/09/30 N=26  
 ● 2008/10/01～2008/10/31 N=1

図3※ 雲仙岳 震源分布図（2007年11月～2008年10月）

今期間求まった震源は、これまでも発生している平成新山直下に分布しました。

雲仙岳

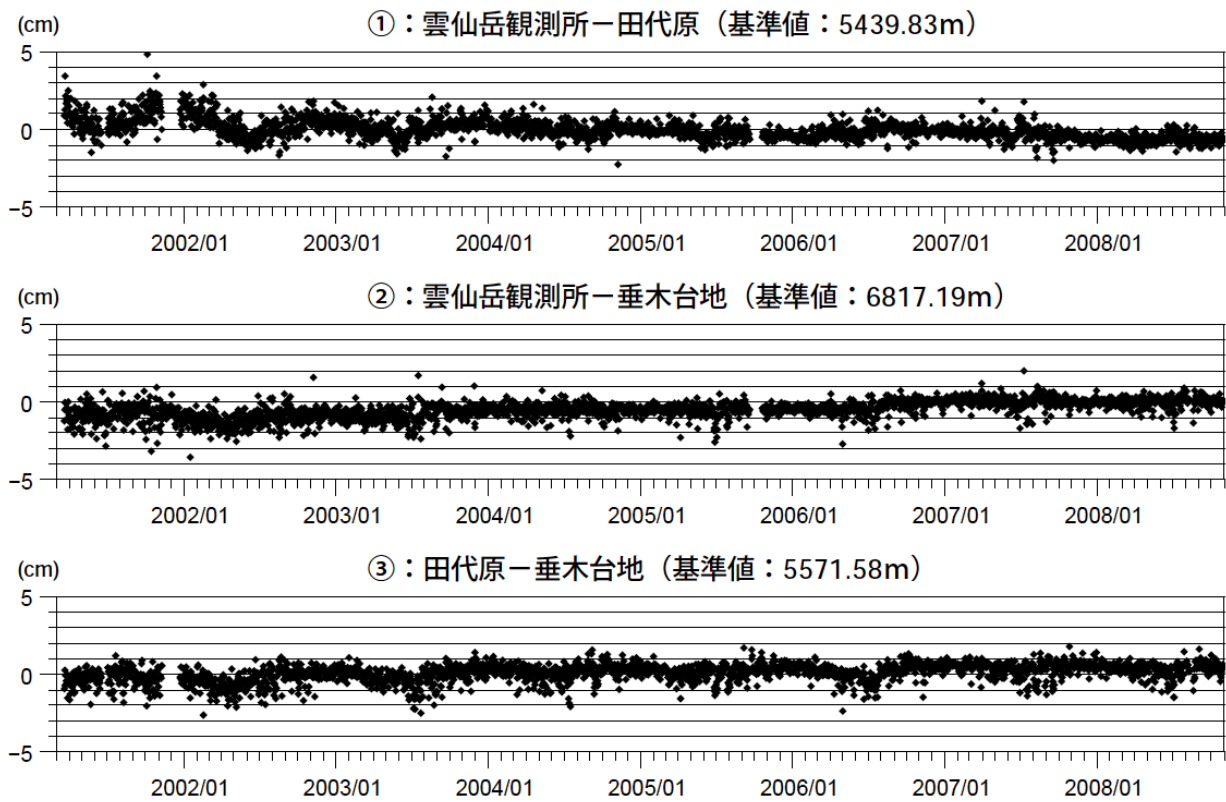


図 4 雲仙岳 GPS 連続観測による基線長変化(2001 年 3 月 20 日～2008 年 10 月 31 日)  
火山活動に起因するとみられる変化は認められませんでした。